

元気に遊ぶこどもたち



南風会 面村 則夫 議員

21年度 予算編成方針は

限られた財源を有効配分する

市長

21年度は、市長総仕上げの年度である。財政厳しくとも社会資本の整備や、市民生活の向上、安心、安全なまちづくりは必要である。合併後の総括と予算編成方針、重点施策について伺う。

少子化対策について 若者が定住する施策や、安心して子育てができる経済的支援策について伺う。

効率的な行政運営 事業評価制度と地域活性化緊急対策事業の取組みについて伺う。

暮らしの安全安心は 窓口サービスなどの向上や、心配ごと相談場所・内容の拡大計画は、忙しくて相談に来れない人に対して、夜間や出張を行う計画について伺う。

消防団出初式



丹政クラブ 川勝 眞一 議員

消火活動は時間が大切

初期消火は大変重要

市長

災害時の情報体制で、今回、火災が起きた中でサイレンが鳴るのがかなり遅かったとの声もある。調べた内容では、市役所からの報告とは時間が異なる。消火活動は時間が大切である。消防団員の消火活動時の服装は義務付けているのか。この件について伺う。

堆肥処理の行政指導は バイオスタウン構想が提案され事業化として推進する中、方針・計画問題点について伺う。

バイオスタウン 構想をさらに発展させ、生ゴミ、下水汚泥、間伐材などの未活用バイオオマスの活用を行う。液肥の利活用は検討委員会などで講演会の計画もあり、化学肥料を減らし有機農業の構築が課題になっている。堆肥処理で一部の畜産農家において時期的

接客マニュアルを作成した。また、窓口サービスを徹底するため職員に、3名の専門相談員を配置した。

佐々木市長にまちづくりを問う

一般質問

12月定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。(質問順に掲載)

安心して子どもが産めるように

現在は従来どおりの体制を確保

産婦人科の医師不足の問題は、南丹市でも例外ではない。産婦人科医院・病院の現状と問題点を伺う。

南丹病院は里帰り出産を規制した時期もあったが、現在は従来どおりの体制を確保できた。

中学校給食については、生徒指導、財政など、厳しい状況にあるが、できる所からというように状況もふまえ、検討課題として捉えている。

障害者相談支援事業実施要綱に基づき、相談支援を行っているが、相談体制の拡充・充実をはかっていく。



日本共産党・住民協働市会議員団 仲 絹枝 議員

厳しい財政・停滞する周辺整備

行政経営方針を作成

日吉・美山町は、過疎地域指定により有利な過疎債によるまちづくりを進めてきたが、合併後は全市に拡大される「日吉・美山」地域で使われる財源が減少し、

本市には「限界集落」が14集落あり、さらに準限界集落を抱

道路整備では、日吉地域を進めている6路線、21年度から計画に上がっている路線整備などの財源確保が課題であり、園部・八木地域の道路整備を先行しな

必要性は認識している。道路整備計画に盛り込み検討したい。



活緑クラブ 松尾 武治 議員

合併の約束事である「総合支所」の形骸化により「住民サービス」が低下している。施策の検証をすることなく事業を進めた結果が、厳しい財政状況に陥った要因である。

道路整備など周辺整備が停滞している。周辺整備等と併せ予算編成方針を問う。

日吉地域の過疎債の充当額は、合併前は年平均5億9600万円、合併後は4億2200万円と認識している。

必要ならば南丹市の発展につながるという説明が必要と考える。